

令和5年度

入学者選抜に関する要項



- * 教育学部
- * 地域科学部
- * 医学部
- * 工学部
- * 応用生物科学部
- * 社会システム経営学環

令和4年7月

目 次

Ⅰ	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ	募集人員	7
Ⅲ	出願資格	9
Ⅳ	岐阜大学入学資格審査	10
Ⅴ	障害等のある者の出願にあたっての事前相談	12
Ⅵ	入学者選抜方法等	13
	1. 一般選抜の入学者選抜方法等	13
	2. 特別選抜の入学者選抜方法等	15
	3. 一般選抜の実施教科・科目及び配点等	17
	4. 大学入学共通テストの受験を要する教科等	28
	(1) 一般選抜	28
	ア 前期日程	28
	イ 後期日程	30
	(2) 学校推薦型選抜Ⅱ	32
	5. 一般選抜の実技検査・小論文・面接	36
	6. 特別選抜の入試方法等	38
	(1) 学校推薦型選抜	38
	(2) 社会人選抜	47
	(3) 帰国生選抜	49
	(4) 私費外国人留学生選抜	50
Ⅶ	学生募集要項・大学（学部等）案内の入手方法等	52

一般選抜および学校推薦型選抜Ⅱ(共通テストを課す)学生募集要項の入手方法および出願方法

インターネットを利用した出願になります。

学生募集要項は本学ホームページに電子ファイル(PDF形式)で掲載し、冊子による配布は行いません。

本学への出願はインターネットの専用サイトから各自で登録していただきます。

ただし、一部の出願書類は郵便により提出していただく必要があるため、必要な様式は本学ホームページに電子ファイルで掲載しますので、各自でダウンロードしたうえで作成し郵送していただきます。

これらの情報は11月下旬以降に本学ホームページ「入試案内」でお知らせします。

新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、本要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあり得ます。その場合は、本学ホームページ「入試案内」でお知らせします。

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

◎ 岐阜大学

岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。

1. 知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぼうとする人
2. さまざまな見方や論理的な考え方ができる人
3. 相手の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人
4. 積極的に課題を探求しようとする人
5. これからの地域や国際社会で活躍したい人

上記の学力や意欲などを有する学生を選抜するために、各学部において、それぞれのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを踏まえ、学力試験や小論文試験などにより、受験者を多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。詳しくは、各学部のアドミッション・ポリシーや学生募集要項をご覧ください。

◎ 教育学部

<基本理念>

岐阜大学教育学部は、岐阜県を中心として活躍する、優れた専門的知見と指導能力をもつ教員、ならびに社会の多様な学習要求に応える教育専門職及び教育関係者の養成を目的とする学部です。本学部は、教育を通じて、平和で豊かな世界の実現に貢献する人材を育成します。

<求める学生像>

[知識・技能]

大学での学修に必要な教科・科目の基礎知識、実技系においてはその基礎的実践能力を有する人

[思考力・判断力]

知識・技能を批判的に継承しつつ、多様かつ創造的な思考・判断ができる人

[表現力]

子どもや保護者をはじめ社会の様々な人の声に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる能力をもつ人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

大学並びに教育実践の場における様々な学修を通じて、自ら進んで他者と協働し、教職に対するよりよい理解を得ようとする人

[その他の教育学部が求める要素]

- ・豊かな人間性の上に、教育に対する情熱と責任感を有する人
- ・岐阜県を中心とした教育現場で活躍できる人

(学校推薦型選抜Ⅱ(ぎふ清流入試)においては、岐阜県内の教員として活躍できる人)

選抜方法及び入試区分		学力の3要素等			主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の教育学部が求める要素	
		知識・技能	思考力・判断力	表現力			
選抜方法ごとの見える力	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
		個別学力試験	○	◎	○		
		実技検査(※1音・美・体)	◎		◎		
		講座面接(美術のみ)	◎	○	◎	◎	
		共通面接			○	◎	◎
	学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	◎	○			
		推薦書	○	○	○	○	
		岐阜県教員を目指す学修計画書					◎
		面接	個人	◎	○	◎	○
		集団			○	◎	◎
	音楽歴調書(音)	◎					
	作品(美)	◎		◎			
	運動歴調書(体)	◎					
	調査書	○					

※1 音楽の実技検査には、口述試験が含まれます。

◎：最重点評価項目、○：重点評価項目

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

大学入学共通テストの成績により、卒業後に教師として必要となる幅広い基礎的学力を評価します。また、個別学力検査では、志望する講座により指定がありますが、前期日程において英語、数学、国語及び理科(物理・化学・生物)から2教科(音楽教育講座は1教科と口述試験を含む関連する実技。美術教育講座は美術実技と講座面接。保健体育講座は体育実技のみ)の試験を課し、教育学部で学ぶのに必要な論理的思考力(実技系は実技能力)を評価します。また、全ての講座において共通面接を実施し、表現力や協働性、教育に対する熱意を総合判定の資料とします。これらを合わせて、合否を判定します。配点は、本要項を参照してください。

<学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)「ぎふ清流入試」>

本学部で行う「学校推薦型選抜Ⅱ(ぎふ清流入試)」は、岐阜県内の教員として働きたい人を対象とした入学試験です。大学入学共通テストの成績により、高等学校において学習した教科・科目の基礎的知識・技能及び岐阜県教員として働くための資質とその表現力を評価します。また、面接により、知識・技能や表現力、協働性、岐阜県教員に対する熱意を評価します。併せて、音楽教育・美術教育・保健体育においてはそれぞれ調書や作品により、基礎的実践能力を評価します。これらの評価を合わせて、合否を判定します。配点は、学生募集要項を参照してください。

◎ 地域科学部

<教育理念・目標>

地域科学部は、「地域」がキーワードとなるさまざまな社会的及び文化的課題について、人文科学、社会科学ならびに自然科学の基礎学力をもとにして、総合的に考究する能力を育てることを目標としています。これにより発展的な地域創成や、豊かな社会形成に貢献でき、リーダーシップを発揮できる人の育成を目指します。

<求める学生像>

このような理念・目標のもと本学部の学生には、主に次のような資質を持っていることを望みます。

1. 人間社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。
2. 物事をさまざまな視点から総合的かつ論理的に考えることができる。
3. 自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。
4. 他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現する能力を持っている。
5. 幅広い学問分野を学びながら、自己の専門分野を次第に決定してゆきたいという意欲を持っている。

<学力の3要素について>

本学部は、学力の3要素のどの要素も重視しています。知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、その他の要素を相互に関連付け、相互に補い合うように学んでくることを期待しています。

[知識・技能]

人間・社会の営みや自然との関わりに基礎的な知識、技能を持っている。

[思考力・判断力]

さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考えることができる。

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

[表現力]

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

[その他の要素]

人間・社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
大学入学共通テスト	一般(前期・後期)、学校推薦型選抜Ⅱ	○	○			
英語または数学	一般(前期)	○	○	○	○	○
小論文	一般(前期・後期)、学校推薦型選抜Ⅰ、社会人、帰国生	○	○	○	○	○
面接	学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、社会人、帰国生	○	○	○	○	○

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入学共通テストを課しています。個別学力試験では、数学または英語(どちらかを選択)、および小論文試験を課しています。前者は、高校で学んだ数学または英語の学力を評価します。また、後者は、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。配点は、本要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大切にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<後期日程試験>

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入学共通テストを課しています。個別学力試験では、小論文試験を課しています。小論文試験では、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。配点は、要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大切にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)>

対象は、高等学校(中等教育学校を含む。)の専門学科又は総合学科、及び特別支援学校高等部の卒業見込みの者です。推薦書、志望理由書及び調査書並びに小論文試験と面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に合否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)>

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入学共通テストを課しています。また、推薦書、志望理由書及び調査書並びに面接試験では、論理的思考力・表現力や関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に合否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<社会人選抜>

対象は、社会経験を積み、大学で学ぶ意欲のある社会人です。出願書類、小論文試験及び面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に合否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。幅広い豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<帰国生選抜>

出願書類、小論文試験及び面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に合否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。各自の学校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

◎ 医学部 医学科

<教育理念>

岐阜大学医学部医学科は、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って教育・研究・臨床に邁進しています。その理念の下に医学の基礎と高度な専門知識・技能を有し、世界と地域の医療・医学の発展に貢献できる優れた医療人・医学研究者を育成することを最大の使命としています。

<求める学生像>

1. 広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人
2. 自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人
3. 協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人
4. 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人

5. 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
6. 責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人

[思考力・判断力]

自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人

[表現力]

協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

(a) 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人

(b) 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人

(c) 責任感と倫理観が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

選抜方法及び入試区分		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
					(a)	(b)	(c)
大学入学共通テスト	一般 学校推薦型選抜Ⅱ	○	○				
個別学力試験	一般	○	○				
面接	一般 学校推薦型選抜Ⅱ		○	○	○	○	○
小論文	学校推薦型選抜Ⅱ	○	○	○	○		○
調査書等	一般 学校推薦型選抜Ⅱ	○			○	○	○

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

大学入学共通テスト、個別学力試験（数学・理科（2科目）・外国語（英語））を課し、幅広い基礎学力に加えて、特に理数系の応用力および英語力を問い、論理的思考と問題解決能力を評価します。また、面接および調査書により、医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性・協調性を評価します。配点は、本要項を参照してください。

<学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）>

大学入学共通テストで幅広い基礎学力を問うことに加え、推薦書、志望理由書、調査書、小論文及び面接により人間性豊かで表現力に富み、将来優れたリーダーシップを発揮する医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性および勉学の継続意欲を評価します。なお、選抜は大学入学共通テストに基準点を設け、基準点以上を得た受験者の中から行います。配点は、学生募集要項を参照してください。

◎ 医学部 看護学科

<教育理念>

次世代における保健・医療・福祉を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、豊かな感性と人間性を備え、地域における健康課題に対応する質の高い看護が実践できる能力を身につけ、看護専門職としてリーダーシップを発揮し、グローバルに活躍する人材を育成する。

<求める学生像>

1. 看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人
2. 身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人
3. 高い倫理観に支えられ、自分を律する能力を持っている人
4. 他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人
5. 看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
6. 他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人
7. 自己・周囲の変化に応じて対応できる能力を持っている人
8. 自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人

[思考力・判断力]

- ・身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人
- ・高い倫理観に支えられ、自分を律する能力を持っている人

[表現力]

他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
- ・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人
- ・自己・周囲の変化に応じて対応できる能力を持っている人

[その他の要素]

自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
大学入学共通テスト	一般（前期・後期）	○	○			
個別学力試験	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（後期），学校推薦型選抜Ⅰ，社会人		○	○	○	○
面接	一般（後期），学校推薦型選抜Ⅰ，社会人		○	○	○	○
調査書	学校推薦型選抜Ⅰ	○			○	○

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力を評価するために大学入学共通テストと個別学力検査として国語又は数学、英語を実施します。

<後期日程試験>

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力さらに目的意識、社会への関心、表現力を評価するために大学入学共通テストと個別学力検査として小論文、面接を実施します。

<学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）>

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な基礎学力の程度と、看護への強い関心・意欲・探究心など看護職者としての適性を調査書、小論文、面接により総合的に判断します。

<社会人選抜>

社会人経験者を対象に、人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護実践能力と幅広い教養と豊かな人間性を身につけようとする者に強い意欲を有する者を求めています。アドミッション・ポリシーに沿って総合的に評価するために、小論文、面接を実施します。

◎ 工学部

<教育目的>

工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養います。同時に、専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育みます。これにより、人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成を目指します。

<求める学生像>

本学部では、21世紀の社会を支える先端的な工業技術に対する深い関心があり、以下のような資質を持った学生を求めています。

1. 先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、新しい発想ができる人
3. 相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人
4. 知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人
5. 国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

多様な入試を実施し、個性の異なる学生を受け入れて積極的に活性化を図っています。

<学力の3要素について>

[知識・技能]

先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人

[思考力・判断力]

理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、創造性豊かな発想ができる人

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人

[その他の要素]

国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
大学入学共通テスト	一般，学校推薦型選抜Ⅱ	○	○			
個別学力試験	一般	○	○	○		
面接	学校推薦型選抜Ⅱ		○	○	○	○
調査書	学校推薦型選抜Ⅱ	○	○		○	

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験・後期日程試験>

大学入学共通テストでは国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の5教科を課し、受験する者がこれまでに身につけた基礎学力の評価を行います。個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科（物理又は化学）並びに工学技術者として必須である英語を課し、大学入学共通テストと個別学力検査の合計点により合格者を決定します。

基礎学力に加えて理解力・応用発展能力がどれだけあるかを評価するため個別試験に重きを置きます。

<学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）>

高等学校の教育課程編成の違いに応じて、(1) 普通科又は理数に関する学科、(2) 工業に関する学科 の2種類の特別入試を行います。

いずれの入試も大学入学共通テストと面接により可否を判定します。

◎ 応用生物科学部

<求める学生像>

応用生物科学部は、応用生物科学の学理を修得し、生物産業の発展や持続可能な生物生産、人間を含む生態系の保全および人と動物との共生などの分野で活用することによって、より良い社会を実現したいと考える学生を求めています。

このためには、大学での学修に必要な基礎知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性などの資質が必要です。応用生物科学部では、これらの資質を多様な入試制度で判定し、応用生命科学課程、生産環境科学課程及び共同獣医学科の具体的な目標の達成のために強い意欲を持って学習に励む学生を受け入れます。

<受け入れる学生に求める学習成果>

本学部は、「学力の3要素」を次のように4要素に再分類し、これまでの学習の成果を評価します。

[知識・技能]

応用生物科学の学理の理解に必要な基礎能力、課題に対する知的的好奇心

[思考力・判断力]

科学的な思考、科学的な根拠に基づいた適切な判断

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分の考えを的確に伝える

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

独創的な取り組み、他者との協調性

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性
選抜方法及び入試区分					
大学入学共通テスト	一般、学校推薦型選抜Ⅱ	◎	○		
個別学力試験	一般	○	◎	○	
面接	学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ		○	◎	◎
小論文	学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ	○	◎	◎	○
調査書	学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ	○			○

◎最重点評価項目、○重点評価項目

入学選抜の基本方針

<前期日程試験>

応用生命科学課程及び生産環境科学課程では、大学入学共通テストにより「応用生物科学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。個別学力試験では数学と理科を課し、基礎学力に加えて「課題に対する知的的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力」を評価します。

共同獣医学科では、大学入学共通テスト及び個別学力試験により「獣医学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。

<後期日程試験>

応用生命科学課程及び生産環境科学課程では、大学入学共通テストにより「応用生物科学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。個別学力試験では理科を課し、基礎学力に加えて「課題に対する知的的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力」を評価します。

<学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）>

応用生命科学課程及び生産環境科学課程では、職業教育で得た経験を生かして、優れたリーダーシップを発揮できる人を求めています。

小論文により、志望する課程で学ぶために必要な「主に理科に関する基礎学力、課題に対する知的的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力」を評価します。前述の能力に加えて面接（推薦書及び志望理由書を参考資料とする。）では、「独創的な取り組み、他者との協調性」を評価します。調査書では、「基礎学力、独創的な取り組み、他者との協調性」を評価します。配点は、学生募集要項を参照してください。

<学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）>

応用生命科学課程及び生産環境科学課程では、大学入学共通テストにより「応用生物科学の学理の理解に必要な基礎能力」を評価します。小論文及び面接（推薦書及び志望理由書を参考資料とする。）により、「課題に対する知的的好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、相手の意見に耳を傾け自分の考えを的確に伝える表現力」を評価します。前述の能力に加えて、面接及び調査書では「独創的な取り組み、他者との協調性」を評価します。

共同獣医学科では、大学入学共通テストにより「獣医学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。小論文、面接及び調査書により「論理的思考力、考えを伝える表現力」と獣医学を学ぶ上での適正などを評価します。

それぞれ配点は、学生募集要項を参照してください。

◎ 社会システム経営学環

<教育理念・目標>

社会システム経営学環では、豊かな教養と健全な心を養います。同時に専門知識とマネジメント力、デザイン思考による課題解決力を育みます。これらにより、人間性豊かで地域社会で活躍する人材の育成を目指します。

<求める学生像>

社会システム経営学環では、民間企業、自治体、NPOなどの運営に深い関心を持つ学生を求めています。このためには、次のような人を求めます。

1. 国内外の社会全般に高い関心を持ち基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み論理的な思考ができる人
3. 相手の意見を聴き自分の考えを伝えて協働することができる人
4. 積極的に行動することをいとわず多くの経験を積むことを楽しむ人
5. 知的好奇心にあふれ自ら地域の課題を理解し、解決策を探究しようとする人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

国内外の社会全般に高い関心を持ち基礎的学力を十分に備えている人

[思考力・判断力]

理解力に富み論理的な思考ができる人

[表現力]

相手の意見を聴き自分の考えを伝えて協働することができる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

積極的に行動することをいとわず多くの経験を積むことを楽しむ人

[その他の要素]

知的好奇心にあふれ自ら地域の課題を理解し、解決策を探究しようとする人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
共通テスト	一般（前期），推薦Ⅱ	○	○	○		
英語または数学	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（前期），推薦Ⅱ		○	○		○
面接	推薦Ⅱ		○	○	○	○
調査書	一般（前期），推薦Ⅱ				○	○

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

大学入学共通テストを課し，高等学校における基礎的学力が修得できていることを評価します。個別学力試験では数学または英語（どちらかを選択）を課し，応用的学力が修得できていることを評価します。また小論文試験を課し，課題発見，論理的思考力，自分の考えを伝える力を評価します。さらに調査書の提出を求め，知的好奇心，課題探究力を持っていることを評価します。

<学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）>

大学入学共通テストを課し，高等学校における基礎的学力が修得できていることを評価します。また小論文試験を課し，課題発見，論理的思考力，自分の考えを伝える力を総合的に評価します。さらに面接試験を課し，コミュニケーション能力（傾聴力，伝達力，協働力）が備わっていることを評価します。調査書（出願者が作成した学修記録（学修ポートフォリオなど）を含む）の提出を求め，高等学校までの学習過程で養成された学力の三要素（知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）の評価を実施する判断材料とします。

Ⅱ 募集人員

学部・学科等名			入学定員	募 集 人 員						
				一 般 選 抜		特 別 選 抜				
				前期日程	後期日程	推 薦 I	推 薦 II	社 会 人	帰 国 生	
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	国 語 教 育	20 ^人	16 ^人			4 ^人			
		社 会 科 教 育	32	22			10			
		数 学 教 育	20	16			4			
		※1 理 科 教 育	32	23			9			
		音 楽 教 育	10	8			2			
		美 術 教 育	10	6			4			
		保 健 体 育	15	13			2			
		技 術 教 育	10	8			2			
		家 政 教 育	10	6			4			
		英 語 教 育	21	17			4			
		学 校 教 育	心 理 学 コー ス	10	7			3		
			教 職 基 礎 コー ス	15	10			5		
		特 別 支 援 教 育	15	13			2			
計			220	165		55				
地 域 科 学 部	地 域 政 策 学 科		(50)							
	地 域 文 化 学 科		(50)	60	21	6	10	2	1	
	計 ※2		100	60	21	6	10	2	1	
医 学 部	医 学 科		※3 110	55			※3 55			
	看 護 学 科		80	42	20	15		3		
	計		190	97	20	15	55	3		
工 学 部	社 会 基 盤 工 学 科	環 境 コー ス	60	24	24	ア) 10	イ) 2			
		防 災 コー ス								
	機 械 工 学 科	機 械 コー ス	130	35	35		8	2		
		知 能 機 械 コー ス								
	化 学 ・ 生 命 工 学 科	物 質 化 学 コー ス	150	36	35		12	2		
		生 命 化 学 コー ス								
	電 気 電 子 ・ 情 報 工 学 科	電 気 電 子 コー ス	170	33	34		6	2		
情 報 コー ス										
応 用 物 理 コー ス										
計			510	222	214	※4 74				
応 用 生 物 科 学 部	応 用 生 命 科 学 課 程		80	57	10	3	10			
	生 産 環 境 科 学 課 程		80	50	10	5	15			
	共 同 獣 医 学 科		30	26			4			
	計		190	133	20	8	29			
社 会 シ ス テ ム 経 営 学 環			30	15			15			
合 計			1,240	692	275	29	238	5	1	

(注)・ この表中、推薦Ⅰは大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ、推薦Ⅱは大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱを示します。

【教育学部】

- ※1 a 教育学部の理科教育講座には、次の専攻があります。
理科教育講座：「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻
- b 教育学部の一般選抜における上記aの理科教育講座の合格者については、専攻を区別せず講座単位で合格者を発表します。所属専攻は、本人の志望と1年次の成績を考慮し、2年次前学期に入るときに各専攻に割り振ります。
- c 教育学部の学校推薦型選抜Ⅱでは、理科教育講座については物理学専攻、化学専攻、生物学専攻は各2人、地学専攻では3人を募集します。

【地域科学部】

- ※2 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。
所属学科は2年次に決定します。

【医学部】

- ※3 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱの募集人員55人には、地域枠推薦28人を含みます。(41ページ参照)
なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請予定の人数であり、変更があり得ます。

【工学部】

- a 工学部の一般選抜では、入学定員を学科ごとに定めていますが、学生募集は以下のとおり行います。
- ① 社会基盤工学科：募集は学科として行います。(所属コースは3年次進級時に決定します。)
 - ② その他の学科：募集はコースごとに行います。
- b 一般選抜に出願する際に、志望することのできる学科は1つのみであり、その学科の中で複数コースを選択することが可能です。(社会基盤工学科を除く。)
- ※4 工学部の学校推薦型選抜Ⅱの募集人員は、「選抜の対象」により異なります。
- 選抜の対象 ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者
イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者
詳細は、43ページで確認してください。
- ・ 次の入試で欠員が生じた場合は、それぞれ指定の入試でその欠員を補充します。
- a 教育学部の学校推薦型選抜Ⅱの欠員→同学部の前期日程で補充
 - b 地域科学部の学校推薦型選抜Ⅰ及びⅡ並びに社会人及び帰国生選抜の欠員→同学部の特別選抜及び前期日程で補充
 - c 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠推薦を除く）の欠員→同学科の前期日程で補充
 - d 医学部看護学科の学校推薦型選抜Ⅰ及び社会人選抜の欠員→同学科の前期日程で補充
 - e 工学部の学校推薦型選抜Ⅱの欠員→同学部の各コース別に前期日程で補充
 - f 応用生物科学部の学校推薦型選抜Ⅰ及びⅡの欠員→同学部の各課程・学科別に前期日程で補充
 - g 社会システム経営学環の学校推薦型選抜Ⅱの欠員→同学環の前期日程で補充
- ・ この表のほか、私費外国人留学生選抜を実施します。(ただし、医学部看護学科、応用生物科学部共同獣医学科及び社会システム経営学環を除く。50～51ページを参照)

(留意事項)

国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)に出願することができるのは、1つの同じ大学・学部に限られています。また、本学の「学校推薦型選抜」と、他の国公立大学の「総合型選抜」との併願は認めていません。(ただし、他の国公立大学の「総合型選抜」を不合格となった者の出願は認めます。)

Ⅲ 出願資格

1. 一般選抜

本学に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科・課程等が指定する令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月までにこれに該当する見込みの者

(注)

上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和5年3月までに修了見込みの者を含む。）

又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和5年3月までに修了見込みの者を含む。）

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第137号）

エ 文部科学大臣の指定した者〔昭和23年文部省告示第47号（大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定）〕

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（令和5年3月までに合格見込みの者を含む。）で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

カ 大学入学資格検定に合格した者

キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

(備考)

○ 本学では、大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しません。

○ 上記の「ク」については、「 岐阜大学入学資格審査」を参照してください。

○ 障害等のある志願者で、事前の相談を希望する方は、「 障害等のある者の出願にあたっての事前相談」を参照してください。

2. 特別選抜

38～51 ページを参照してください。

IV 岐阜大学入学資格審査

Ⅳ 出願資格 1. (3) (注)ク (学校教育法施行規則第 150 条第 7 号) により大学入学共通テスト又は岐阜大学へ出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。

1. 申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、大学入学共通テスト又は社会人選抜の出願期間初日の 10 日前までに申請するものとします。

なお、本学の一般選抜に出願する者で本学の入学資格審査を受けていない者は、大学入学共通テストを受験した者に限り、一般選抜出願期間初日の 3 日前までに申請することができるものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書きしてください。

申請先 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1
岐阜大学学務部入試課 あて

2. 入学資格審査の対象者

ア 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で、令和 5 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

イ ア以外の者であっても、各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が、高等学校を卒業した者の学力と同等以上であると認められる者で、令和 5 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

3. 申請手続

次の書類を添え、申請してください。

(1) 共通の書類

- ① 入学資格認定書交付申請書 (本学所定の用紙)
- ② 返信用封筒 (申請者の宛先を明記し、速達簡易書留による切手を貼付してください。)

(2) 前項のアに該当する者

- ① 最終学校の卒業 (修了) 証明書又は卒業 (修了) 見込み証明書
- ② 高等学校に対応する学校の課程に在学している者は、当該学校の学則 (修業年限、授業科目、標準単位数、週当たり授業時数及び年間授業週数が明示されたもの)
- ③ 教科・科目の履修状況 (調査書に準じたもの)

(3) 前項のイに該当する者

- ① 学習等の履歴書
- ② 各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が客観的に確認できる書類

4. 本学所定の用紙の請求方法

入学資格認定書交付申請書の用紙を請求する場合は、返信用封筒として「長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）」にあなたの受信住所、郵便番号、氏名を記入の上、84円切手を貼付し、これを折りたたんでも構いませんので、定形内の封筒に入れ、表に「入学資格認定書交付申請書請求」と朱書きし、岐阜大学学務部入試課へ申し込んでください。

5. 審査方法等

審査請求があったときは申請書類により速やかに審査を開始します。

6. 審査基準

① 当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに習得させる単位数と同等以上であることが必要です。

② 申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

7. 資格審査の結果

資格審査の結果は、速やかに申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた者については、「岐阜大学入学資格認定書」を同封します。

8. 大学入学共通テスト及び岐阜大学入学者選抜試験の受験

「岐阜大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、大学入学共通テスト及び本学の入学者選抜試験に出願し受験することができます。

出願の際は、必ず岐阜大学入学資格認定書の写を添付してください。

V 障害等のある者の出願にあたっての事前相談

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることのないよう必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはありません。

また、入学後の修学に関して相談を希望する方は、志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

1. 相談の期限

一般選抜志願者：願書受付開始日の4日前まで

特別選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）志願者：願書受付開始日の2週間前まで

特別選抜（学校推薦型選抜Ⅰ，社会人選抜，帰国生選抜，私費外国人留学生選抜）志願者
：当該入試の願書受付開始日の1か月前まで

注：日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定や他の配慮との関係から受験上の配慮として申請が必要です。なお，点字による入試が必要な場合は9月末までに相談してください。

2. 相談の方法

①本学所定の用紙「障害者等受験上の配慮申請書」及び②大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写し・該当者のみ）に③医師の診断書及び障害者手帳（写し・該当者のみ）を添付し，志望する学部の学務係に提出してください。（所在地，電話番号等は裏表紙参照）

なお，必要な場合には，志願者又は関係者との面談等を行うことがあります。

3. 本学所定の用紙の請求方法

用紙は，岐阜大学のホームページからダウンロードすることができます。

郵便で用紙を請求する場合は，封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし，84円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm））を同封し，以下の＜請求先＞に送付してください。

※同封の返信用封筒には，あなたの住所，郵便番号，氏名（宛名）を明記してください。返信用封筒は折りたたんで構いません。

＜請求先＞

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学学務部入試課 [電話 058-293-2156, 2157] 又は，各学部の学務係
（所在地，電話番号等は裏表紙参照）

4. 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は，至急志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

VI 入学者選抜方法等

一般(前期・後期)

1. 一般選抜の入学者選抜方法等

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書により、総合的に判定します。

学部・学科等名			選抜方法等		個別学力検査等							個別学力検査等の日程
			個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜				
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入学共通テストの第1段階選抜において必要となる	第1段階の選抜による合格者数			
							対する倍率	募集人員に	その他			
教育学部	学校教育教員養成課程	国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育 特別支援教育	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	2月25日(土) (面接及び実技検査) 2月26日(日)
		音楽教育		○	○	○	×	×	×	×	×	
		美術教育 保健体育		×	○	○	×	×	×	×	×	
地域科学部	地域政策学科 地域文化学科	前期日程	○	×	×	○	×	×	×	×	×	2月25日(土)
		後期日程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	3月12日(日)
医学部	医学科	前期日程	○	×	○	×	×	○	約9倍	×	×	2月25日(土) (面接) 2月26日(日)
		後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	×	3月12日(日)
	看護学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(土)
		後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	×	3月12日(日)

一般（前期・後期）

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書により、総合的に判定します。

学部・学科等名			選抜方法等		個別学力検査等							個別学力検査等の日程
			個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜				
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について必要を行う	第1段階の選抜者数	募集人員に対する倍率	その他	
工学部	社会基盤工学科 機械工学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日 (土)
	化学・生命工学科 電気電子・情報工学科	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日 (日)
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日 (土)
		後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日 (日)
	共同獣医学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日 (土)
社会システム経営学環		前期日程	○	×	×	○	×	×	×	×	×	2月25日 (土)

【全学部共通事項】

- ・当初合格者で入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、追加合格を行うことがあります。
- ・追加合格を行っても、なお入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

◎ 出願期間及び合格者発表日

- ・出願期間（前期・後期日程） 1月23日（月）～ 2月3日（金）
- ・合格者発表日（前期日程） 3月7日（火）
- ・合格者発表日（後期日程） 3月21日（火祝）

◎ 一般選抜における追試験の実施について

- ・追試験実施予定日 3月22日（水）

新型コロナウイルス感染症等を罹患した入学希望者等の受験機会を確保するために、一般選抜（前期日程・後期日程）の追試験を実施します。詳細については、「令和5年度一般選抜学生募集要項」（令和4年11月中旬公表予定）でお知らせします。

2. 特別選抜の入学者選抜方法等

選抜方法等 学部・学科等名		総 合 型 選 抜	学校推薦型選抜								専門 高 校 ・ 総 合 学 科 卒 業 生 入 試	帰国生・社会人等 のための特別選抜			備 考	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する									学 校 推 薦 型 選 抜 募 集 人 員	帰 国 生	中 国 引 揚 者 等		社 会 人
			実 技 検 査 等													
			入 学 共 通 テ ス ト を 課 す	個 別 学 力 検 査 及 び 大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 免 除 す	個 別 学 力 検 査 を 課 す	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す	そ の 他	4 人						
教 育 学 部	学校教育 教員養成 課程	国語教育	×	○	×	×	○	×	×	×	4人	×	×	×	(学校推薦型 選抜Ⅱ) 補足事項 [音楽] 音楽歴調書を 面接の参考資 料として使用 [美術] 持参する作品 (5点以内)を 用いて判定 [保健体育] 運動歴調書を 用いて判定	
		社会科教育									10人					
		数学教育									4人					
		理科教育(物理学)								×	2人					
		理科教育(化学)								×	2人					
		理科教育(生物学)									2人					
		理科教育(地学)									3人					
		音楽教育	×	○	×	×	○	×	×	○	2人	×	×	×		
		美術教育					※1			○	4人					
		保健体育								○	2人					
		技術教育									2人					
		家政教育									4人					
		英語教育								×	4人					
		学校教育(心理学コース)									3人					
学校教育(教職基礎コース)									5人							
特別支援教育									2人							
地 域 科 学 部	地 域 政 策 学 科 地 域 文 化 学 科 ※2		×	○	×	○	○	×	×	6人	×	○	×	○	(学校推薦型 選抜Ⅰ)	
			×	○	×	×	○	×	×	10人					(学校推薦型 選抜Ⅱ)	
医 学 部	医 学 科	×	○	×	×	○	○	×	×	※3 55人	×	×	×	×	(学校推薦型 選抜Ⅱ)	
	看 護 学 科	×	×	○	×	○	○	×	×	15人	×	×	×	○	(学校推薦型 選抜Ⅰ)	
工 学 部 ※4	社会基盤 工学科	環 境 コ ー ス								ア)イ) 10人					(学校推薦型 選抜Ⅱ)	
		防 災 コ ー ス								2人						
	機 械 工 学 科	機 械 コ ー ス									8人					
		知 能 機 械 コ ー ス									5人					
	化 学 ・ 生 命 工 学 科	物 質 化 学 コ ー ス	×	○	×	×	○	×	×	×	12人	×	×	×		
		生 命 化 学 コ ー ス									6人					
電 気 電 子 ・ 情 報 工 学 科	電 気 電 子 コ ー ス									6人						
	情 報 コ ー ス									8人						
	応 用 物 理 コ ー ス									4人						

特別

学部・学科等名	選抜方法等	総合型選抜	学校推薦型選抜							専門高校・総合学科卒業生入試	帰国生・社会人等のための特別選抜			備考	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								学校推薦型選抜募集人員	帰国生	中国引揚者等		社会人
			実技検査等												
			入学共通テストを課す	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	その他						
応用生物科学部	応用生命科学課程	×	×	○	×	○	○	×	×	3人	×	×	×	×	(学校推薦型選抜Ⅰ)
	生産環境科学課程		○	×	×	○	○	×	×	5人					
	応用生命科学課程		○	×	×	○	○	×	×	10人					(学校推薦型選抜Ⅱ)
	生産環境科学課程		○	×	×	○	○	×	×	15人					
	共同獣医学科		○	×	×	○	○	×	×	4人					
社会システム経営学環	×	○	×	×	○	○	×	×	15人	×	×	×	×	(学校推薦型選抜Ⅱ)	

- ※1 教育学部の個人面接は、一部の講座等において口述試験を含み、英語教育講座は英語面接を含み、音楽教育講座は実技試験を含みます。(38 ページ参照)
- ※2 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。
- ※3 医学部医学科の学校推薦型選抜の募集人員 55 人には、地域枠推薦 28 人を含みます。(41 ページ参照)
なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請予定の人数であり、変更があり得ます。
- ※4 工学部の学校推薦型選抜の募集人員は、「選抜の対象」により異なります。ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込み又は卒業後 1 年以内の者 イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後 1 年以内の者 (43 ページ参照)
- ・ この表のほか、私費外国人留学生選抜を実施します。(ただし、医学部看護学科及び応用生物科学部共同獣医学科を除く。50～51 ページを参照)

(留意事項)

国立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)に出願することができるのは、1つの同じ大学・学部に限られています。また、本学の「学校推薦型選抜」と、他の国立大学の「総合型選抜」との併願は認めていません。(ただし、他の国立大学の「総合型選抜」を不合格となった者の出願は認めます。)

3. 一般選抜の実施教科・科目及び配点等

学部 及び 入学年度 [令和4年度]	学科等 名 等 員 定 額 率 [志願倍率]	学力検査 等の区分 ・日程		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等					大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						備考	
		前期	後期	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合 問題	面接	配点 合計		
教育学部 [3.6]	220人 前期 16 後期 0 その他 4	前期 2月25日 26日	後期	国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注)	英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から 1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から 2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は 6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択] 共通面接	共通テスト	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100	*	100	$\frac{50}{100}$			450	*印 から 2つ 選択
				数 理 外			計	(300) (300) 100	$\frac{100}{50}$	(300) 100 (300)	$\frac{50}{100}$	100 (300) (300)								
教育学部	32人 前期 22 後期 0 その他 10	前期 2月25日 26日	後期	国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注)	英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から 1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から 2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は 6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択] 共通面接	共通テスト	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100	*	100	$\frac{50}{100}$			450	*印 から 2つ 選択
教員養成課程				数 理 外			計	(300) (300) 100	$\frac{100}{50}$	(300) 100 (300)	$\frac{50}{100}$	100 (300) (300)						850		
教育学部	20人 前期 16 後期 0 その他 4	前期 2月25日 26日	後期	国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注)	英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から 1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から 2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は 6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択] 共通面接	共通テスト	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100	*	100	$\frac{50}{100}$			450	*印 から 1つ 選択
課程				数 理 外			計	(300) (300) 100	$\frac{100}{50}$	(300) 100 (300)	$\frac{50}{100}$	100 (300) (300)						850		

学部・学入年度 及び[合和4年度 教育学部 [3.6]	学科等 学定員等 志願倍率]	学力検査 等の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							備考				
			教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		実技	小論文	総合 面接	配点 合計
220人 前期 後期 その他 165 0 55	理科教育 32人 前期 後期 その他 23 0 9	前期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・教A 数II・教B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・教A・教II・教B)又はロ(数I・教A・教II・教B・教III)のどちらから1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [数必須, 国, 理, 外のいずれかを 選択] 共通面接 その他	共通テスト	100	100	100	100	50 100	100	100	100	100	100	450	*印 から 1つ 選択
			後期	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・教A 数II・教B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	実技検査(口述試験含む) 国語総合 イ(数I・教A・教II・教B)又はロ(数I・教A・教II・教B・教III)のどちらから1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [実技必須, 3教科のうち1教科を 選択] 共通面接 その他	共通テスト	100	100	100	100	50 100	100	100	100	100	450	
音楽教育 10人 前期 後期 その他 8 0 2	美術教育 10人 前期 後期 その他 6 0 4	後期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・教A 数II・教B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	実技検査(口述試験含む) 国語総合 イ(数I・教A・教II・教B)又はロ(数I・教A・教II・教B・教III)のどちらから1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [実技必須, 3教科のうち1教科を 選択] 共通面接 その他	共通テスト	100	100	100	100	50 100	100	100	100	100	450	*印 から 1つ 選択	
			後期	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・教A 数II・教B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	実技検査(配点有の講座面接含む) 共通面接 その他	共通テスト	100	100	100	100	50 100	100	100	100	100		450
220人 前期 後期 その他 165 0 55	理科教育 32人 前期 後期 その他 23 0 9	前期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・教A 数II・教B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国語総合 イ(数I・教A・教II・教B)又はロ(数I・教A・教II・教B・教III)のどちらから1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I [数必須, 国, 理, 外のいずれかを 選択] 共通面接 その他	共通テスト	100	100	100	100	50 100	100	100	100	100	450	*印 から 1つ 選択	
			後期	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・教A 数II・教B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	実技検査(配点有の講座面接含む) 共通面接 その他	共通テスト	100	100	100	100	50 100	100	100	100	100		450

学部 及び [令和4年度 教育学部 [3.6] 220人 前期 165 後期 0 その他 55]	学 科 等 名 等 定 員 等 志 願 倍 率]	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等 の 区 分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							備 考					
			教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		実技	小論文	総合 問題	面接	配点 合計
学 校 教 育 員 養 成 課 程	保健体育 15人 前期 13 後期 0 その他 2	前期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から 1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から 2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は 6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [数必須, 国, 理, 外のいずれかを 選択] 共通面接	共通テスト	100	100 50	100 50	100 100	50 100	100	400			450			
		後期	募集しない	その他	共通テスト 個別学力検査等													
学 校 教 育 員 養 成 課 程	保健体育 10人 前期 8 後期 0 その他 2	前期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から 1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から 2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は 6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [数必須, 国, 理, 外のいずれかを 選択] 共通面接	共通テスト	100	100 50	100 50	100 100	50 100	100	400		450		*印 から 1つ 選択		
		後期	募集しない	その他	共通テスト 個別学力検査等													
学 校 教 育 員 養 成 課 程	保健体育 10人 前期 6 後期 0 その他 4	前期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 (注) 英 「地理歴史・公民から2及び理科から 1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から 2」 ※1, ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は 6教科8科目]	国語総合 イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらからか1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [3教科のうち2教科を選択] 共通面接	共通テスト	100	100 50	100 50	100 100	50 100	100	400		450		*印 から 2つ 選択		
		後期	募集しない	その他	共通テスト 個別学力検査等													

学部 及び 教育学部 [3.6]	学 入 学 年 度 [合和4年度]	学 科 等 名 等 定 員 等 志 願 倍 率]	学 力 検 査 等 の 区 分 ・ 日 程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
				教科等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合 面接	配点 合計	備考
				科目名	科目名													
220人 前期 後期 その他 165 0 55	英語教育	21人 前期 後期 その他 17 0 4	前期 2月25日 26日 後期	国語総合	国語総合	共通テスト 個別学力検査等	100	100	50 100	100	50 100	100	100	100	※4	450	*印 から 2つ 選択	
				数 外 その他	数 外 その他		100 (300)	100 (300)	100 50	100 50	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)
	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	募集しない	後期	国語総合	国語総合	共通テスト 個別学力検査等	100	100	50 100	100	50 100	100	100	100	※4	450	*印 から 2つ 選択	
				数 外 その他	数 外 その他		100 (300)	100 (300)	100 50	100 50	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	400
	特別支援教育	15人 前期 後期 その他 13 0 2	前期 2月25日 26日 後期	国語総合	国語総合	共通テスト 個別学力検査等	100	100	50 100	100	50 100	100	100	100	※4	450	*印 から 2つ 選択	
				数 外 その他	数 外 その他		100 (300)	100 (300)	100 50	100 50	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	100 (300)	400
		募集しない	後期															

学部・学域及び入学人数 [令和4年度]	学科等 [令和4年度]	学域	学域等 [令和4年度]	学域等 [令和4年度]	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
					科目	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合問題	面接	配点合計	備考
100人 前期 後期 その他	地政学 地域文化学科 各学科50人 入試は学科の区別をせず学部単位で実施	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※2 (→P.26) [5教科7科目, 6教科8科目又は6教科8科目]	数 外 その他	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ [2教科のうち1教科を選択] 小論文	2段階 選抜	共通テスト 個別学力検査等	100	$\frac{100}{50}$	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100	100	100	200		450	*印から1つ選択
								100	$\frac{100}{50}$	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100	100	100	200		450	
190人 前期 後期 その他	医学部 [10.1]	前期 2月25日 26日	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 英 [5教科7科目]	数 外 理 その他	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ 物基・物, 化基, 生基・生から2 面接	前期 日程の募集人員の約9倍	共通テスト 個別学力検査等	200	*100	*100	200	200	200	200	400	400	*4	900	*印から1つ選択
								200	*100	*100	200	200	400	400	600	600	2,100		
100人 前期 後期 その他	看護学部 地域推薦の募集人員については41ページ参照	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数Bから1 物基, 化基, 生基, 物, 化, 生 (注) 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※3 (→P.26) [5教科7科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国 数 外	国語総合 数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ [外必須, 国又は数のどちらかを選択]	共通テスト 個別学力検査等	100	$\frac{100}{50}$	$\frac{100}{50}$	100	100	100	100	100	200		450	*印から1つ選択	
							100	$\frac{100}{50}$	$\frac{100}{50}$	100	100	100	100	100	200		450		
100人 前期 後期 その他	看護学部 地域推薦の募集人員については41ページ参照	後期 3月12日	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数Bから1 物基, 化基, 生基, 物, 化, 生 (注) 英 (注) 「地理歴史・公民から2及び理科から1」又は「地理歴史・公民から1及び理科から2」 ※1, ※3 (→P.26) [5教科7科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国 数 外	国語総合 数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ [外必須, 国又は数のどちらかを選択]	共通テスト 個別学力検査等	100	$\frac{100}{50}$	$\frac{100}{50}$	100	100	100	100	100	200		450	*印から1つ選択	
							100	$\frac{100}{50}$	$\frac{100}{50}$	100	100	100	100	100	200		450		

学部 及び 工学部 [令和4年度]	入学定員等 [令和4年度]	学科等 名等	学力検査 等の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学 力検査 等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
				教科	科目名 等		試験の区分	国語	地歴 (1科目選択)	公民	数学	理科	外国語 実技	小論文	総合 問題	面接	配点 合計	備考		
工学部 [6.4] 510人 前期 後期 その他	社会基礎工学科 60人 環境コース 22 防災コース 214 前期 後期 その他 74	60人 環境コース 24 前期 後期 その他 12	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A } 数II・数B, 情報から1 } 物, 化, 生から2 } 英 [5教科7科目]	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	共通テスト	200	100 (1科目選択)	200	200	200	共通テスト 合計900点に9分の5を掛けて 500点に換算する。				500			
				地歴				公民	数学	理科	外国語 実技	小論文							総合 問題	面接
			後期 3月12日																	
工学部 [6.4] 510人 前期 後期 その他	機械工学科 80人 機械コース 35 前期 後期 その他 35 知能機械 コース 50人 前期 後期 その他 21 7	80人 機械コース 35 前期 後期 その他 10 知能機械 コース 50人 前期 後期 その他 21 7	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A } 数II・数B, 情報から1 } 物, 化, 生から2 } 英 [5教科7科目]	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	共通テスト	200	100 (1科目選択)	200	200	200	共通テスト 合計900点に9分の5を掛けて 500点に換算する。				500			
				地歴				公民	数学	理科	外国語 実技	小論文							総合 問題	面接
			後期 3月12日																	

学部・及び 工学部 [令和4年度 221人 前期 214人 後期 74人 その他]	学科等 名 等 定員 等 志願 倍率]	学力検査 等の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等	2段階 選 抜	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
			国 語 地 理 公 民 教 科	科 目 名 等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合 問題	面接	配点 合計
工学部 [6.4] 510人 前期 後期 その他	化学・生命工学科 85人 物質化学 コース 前期 36 後期 35 その他 14 生命化学 コース 前期 65人 後期 30 その他 27 8	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 I・数A } 数 II・数B, 情報から1 } 物, 化, 生から2 } 英 [5教科7科目]	数 理 外	数 I・数A・数II・数B・数III 化基・化 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	共通テスト	200	100 (1科目選択)	200	200	200	200				500		
		後期 3月12日			計				400	400	200						1,000	
					共通テスト			200	100 (1科目選択)	200	200	200						500
工学部 [6.4] 510人 前期 後期 その他	電気電子・情報工 学科 75人 電気電子 コース 前期 33 後期 34 その他 8 情報コース 70人 前期 32 後期 28 その他 10 応用物理 コース 25人 前期 10 後期 10 その他 5	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 I・数A } 数 II・数B, 情報から1 } 物, 化, 生から2 } 英 [5教科7科目]	数 理 外	数 I・数A・数II・数B・数III 物基・物 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	共通テスト	200	100 (1科目選択)	200	200	200	200				500		
		後期 3月12日			計				400	400	200						1,000	
					共通テスト			200	100 (1科目選択)	200	200	200						500
				計												2,000		
工学部 [6.4] 510人 前期 後期 その他	化学・生命工学科 85人 物質化学 コース 前期 36 後期 35 その他 14 生命化学 コース 前期 65人 後期 30 その他 27 8	前期 2月25日	国 世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 I・数A } 数 II・数B, 情報から1 } 物, 化, 生から2 } 英 [5教科7科目]	数 理 外	数 I・数A・数II・数B・数III 化基・化 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I	共通テスト	200	100 (1科目選択)	200	200	200	200				500		
		後期 3月12日			計				400	400	200						1,000	
					共通テスト			200	100 (1科目選択)	200	200	200						500
				計												2,000		

学部・入学生員等 及び令和4年度志願倍率]	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考			
		教科	科目名	科目名	科目名	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	総合問題		面接	配点合計	
応用生物科学部 [4.1] 190人 前期 後期 その他 37	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A } 数II・数B, 簿・会から1 } 物, 化, 生, 地から2 } 英	数	イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらから1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1	共通テスト	200	*100	*100	200	200	250					950	*印 か ら 1 つ 選 択	
		後期 3月12日	理	物基・物, 化基・化, 生基・生から1	個別学力検査等					400								400	*印 か ら 1 つ 選 択
	計					200	*100	*100	400	200	250						1,350		
生産環境科学課程 80人 前期 後期 その他 20	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A } 数II・数B, 簿・会から1 } 物, 化, 生, 地から2 } 英	数	イ(数I・数A・数II・数B)又は ロ(数I・数A・数II・数B・数III) のどちらから1 物基・物, 化基・化, 生基・生から1	共通テスト	200	*100	*100	200	200	250					950	*印 か ら 1 つ 選 択	
		後期 3月12日	理	物基・物, 化基・化, 生基・生から1	個別学力検査等					400								400	*印 か ら 1 つ 選 択
	計					200	*100	*100	400	200	250						1,350		
共同獣医学科 30人 前期 後期 その他 4	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A } 数II・数B } 物, 化, 生, 地から2 } 英	理	物基・物, 化基・化, 生基・生から1	共通テスト	200	*100	*100	200	200	250					950	*印 か ら 1 つ 選 択	
		後期 3月12日	外	物基・物, 化基・化, 生基・生から1 コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・コミュニケーション 英語III・英語表現I	個別学力検査等					400								400	*印 か ら 1 つ 選 択
	計					200	*100	*100	200	200	250						1,350		
	後期		募集しない																

学部・学科等 及び入学定員等 [令和4年度 社会システム経営学環 [3.6] 30人 前期 15 後期 0 その他 15]	学力検査等の区分 ・日程 前期 2月25日	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語 実技	小論文	総合 問題	面接	配点 合計	備考
		国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B (注) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 (注) 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 理 化, 生, 地学 (注) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 外 (注) 「地理歴史・公民から2及び 理科から1」又は「地理歴史・公民 から1及び理科から2」 ※2 (→P.26) [5教科7科目, 5教科8科目, 6教 科7科目又は6教科8科目]	数 外 数I・数A・数II・数B コミュニケーション英語I・コミュニ ケーション英語II・英語表現I [2教科のうち1教科を選択] その他 小論文	共通テスト 個別学力検査等	100	100 50	100 50	100	50 100	100 100	100	100 (300)	200			450	*印 から 1つ 選 択
					計	100	100 50	100 50	(300) 100	50 100	100 (300)	200				850	
	後期		募集しない														

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
（「情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）
- 2 「外国語」のうち、「英語」と「リスニング」と「リーディング」の双方を課します。リーディングを受験し、リスニングを受験しなかった場合は、リスニングの得点は0点となります。ただし、リスニングが免除となる受験上の配慮決定者については、リーディングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。
- 3 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
- 4 ※1 教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
- 5 この説明文中において、理科の基礎を付した科目を「理科①」、基礎を付していない科目を「理科②」と表します。
- 6 ※2 「理科①」は2科目で1とします。
理科から1の場合は、(1)「理科①」から2科目、(2)「理科②」から1科目のいずれかとなります。理科から2の場合は、(3)「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目、(4)「理科②」から2科目のいずれかとなります。なお、(3)の場合は、同一名称を含む科目は選択できません。
- 7 ※3 「理科①」は2科目で1とします。
理科から1の場合は、(1)「理科①」から2科目、(2)「理科②」から1科目のいずれかとなります。理科から2の場合は、(3)「理科②」から2科目とします。

【個別学力検査等】欄

「数学」

数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲：全範囲（ただし、数Ⅰは「データの分析」を除く。）

数Aの範囲：「場合の数と確率」、「図形の性質」（ただし、「整数の性質」に関しては、小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。）

数Bの範囲：「数列」、「ベクトル」

「理科」

物基・物の範囲：物理基礎、物理の全範囲。 化基・化の範囲：化学基礎、化学の全範囲。 生基・生の範囲：生物基礎、生物の全範囲。

※数Ⅲ、物理、化学、生物において、「発展的な学習内容」から出題する場合は、設問中に補足事項等を記載する等の配慮を行う。

【2段階選抜】欄

医学部医学科は、前期日程試験において志願者数が募集人員の約9倍を超えた場合、個別学力試験を適切に実施するため、大学入学共通テストの成績（前期日程試験で用いる科目・配点に同じ、満点900点）により第1段階選抜を行います。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- 1 「地理歴史，公民」，「理科②」において，指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては，第1解答科目の得点を採用します。（なお，第2解答科目の得点は一切採用しないので，学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合，出願無資格者となりますので御注意ください。）
- 2 教育学部，地域科学部，医学部看護学科及び社会システム経営学環の志願者で，「地理歴史，公民」，「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は，「地理歴史，公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と，第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 3 教育学部，地域科学部及び社会システム経営学環の志願者で，「地理歴史，公民」から2科目，「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は，以下の(1)～(3)の得点を採用します。
 - (1) 「地理歴史，公民」の第1解答科目の得点，(2) 「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点，(3) 「地理歴史，公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点。
- 4 医学部看護学科の志願者で，「地理歴史，公民」から2科目，「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は，以下の(1)～(3)の得点を採用します。
 - (1) 「地理歴史，公民」の第1解答科目の得点，(2) 「理科①」の2科目の得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点，(3) 「地理歴史，公民」の第2解答科目の得点。
- 5 大学入試センターが発表した大学入学共通テストの「外国語（英語）」の配点は，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）ですが，本学は「外国語（英語）」の配点をリーディング150点満点，リスニング50点満点に換算します。リーディングとリスニングの換算後の合計得点を各学部・学科等が定める配点に応じてさらに換算します。ただし，リスニングが免除となる受験上の配感決定者については，リーディングの得点を各学部が定める配点に換算します。また，地域科学部及び社会システム経営学環は，「英語」以外の外国語は筆記試験（200点満点）の得点を同学部が定める配点に換算します。
- 6 ※4 面接（教育学部では「共通面接」という）は，総合判定の資料（配点なし）とし，教育学部，医学部医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は，総合点にかかわらず不合格とします。

【教育学部の専攻】

教育学部の次の講座には，以下の専攻があります。

理科教育講座：「物理学」，「化学」，「生物学」及び「地学」の4専攻

教育学部の一般選抜（前期日程）における上記の講座の合格者については，専攻を区別せず講座単位で合格者を発表します。所属専攻は，本人の希望と1年次の成績を考慮し，2年次前学期に入るときに各専攻に割り振ります。

4. 大学入学共通テストの受験を要する教科等
 (1) 一般選抜
 了 前期日程

学部 等	受験を要する教科科目										合 計																		
	国語		地理歴史		公民		数学		理科			外国語																	
	国	語	世 界 史 A	日 本 史 A	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会 理	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済		数 学 I	数 学 II	数 学 II ・ 数 学 B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	理 科①	理 科②	英 語	ド イ ツ シ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語						
教育学部	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△	△	○	○	○	○	○	○	◎								5～6 教科
	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○			1				7～8 科目
地域政策学科 地域文化学科 (入試は学部 単位で実施)	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○								5～6 教科
	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○			1					7～8 科目
医学科	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	◎																	5教科	
	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎																	7科目	
看護学部	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								5教科 7科目, 6教科 7～8 科目
	1		○	○	○	○	○	○	○	○	◎																		7～8 科目

学部	受験を要する教科科目								科目				合計	
	公民				数学		理科		外国語					
	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	地理歴史	数学①	数学②	理科①	理科②	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語		
工学部	◎	○	○	○	◎	△	○	○	○	◎				5教科
	1	○	○	○	1	○	△	○	○	1				7科目
応用生命科学課程 生産環境科学課程	◎	○	○	○	◎	△	○	○	○	◎				5教科
	1	○	○	○	1	○	△	○	○	1				7科目
共同獣医学科	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎				5教科
	1	○	○	○	1	◎	○	○	○	1				7科目
社会システム 経営学	◎	○	○	○	◎	△	○	○	○	○				5~6教科
	1	○	○	○	1	○	△	○	○	○				7~8科目

(注)

- ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目として指している場合は2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますのでご注意ください。)
- 教育学部、地域科学部、医学部看護学科及び社会システム経営学環の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 教育学部、地域科学部及び社会システム経営学環の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」の1科目の合計得点が高得点、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の志願者で、「地理歴史、公民」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」から1科目及び「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点
- 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
なお、教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
等課程の修了(見込み)者に限り、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高専部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限り、「情報関係基礎」の科目を選択する者として各学部が定める配点に換算されます。
- 「外国語」のうち、「英語」は、「リーダーディング」を受験し、リスニングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。
得点は0点となります。ただし、リスニングが免除となる受験上の配慮決定者については、リーダーディングを受験し、リスニングを受験しなかった場合は、リスニングの得点は0点となります。

学 部		受験を要する教科・科目										合 計									
		地理歴史		公民		数学		理科		外国語											
工 学 部	等	国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	政治・経済	倫理・政治・経済	数学 I	数学 II	数学②	理科①	理科②	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語	
				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△		○	○	◎	
		1					1					1		1		2		1			
応用生命科学課程	生産環境科学課程	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△		○	○	◎			
共同獣医学科	社会システム経営学環	1					1					1		1		2		1			

- (注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)
- 3 地域科学部、医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。
(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点
- 5 医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。
(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点
- 6 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
- なお、教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の科目を選択となります。
- 7 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。(「情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)
- 8 「外国語」のうち、「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の双方を課します。リーディングを受験し、リスニングを受験しなかった場合は、リスニングの得点は0点となります。ただし、リスニングが免除となる受験上の配慮決定者については、リーディングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

学部	選抜対象者	選抜対象学科等	受験を要する教科科目												合計											
			国語			地理歴史			公民			数学				理科			外国語							
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理	現代社会	政治・経済	倫理	政治・経済	倫理	数学Ⅰ		数学Ⅱ	数学Ⅱ	情報関係基礎	理科①	理科②	地	英	ドイツ語	フランス語	韓国語	
教育学部	—	国語 社会科 数学科 理科 音楽 美術 保健 技術 家庭 英語 特別支援	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎				5～6 教科	
教育学部	—	国語 社会科 数学科 理科 音楽 美術 保健 技術 家庭 英語 特別支援	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	7～8 科目
地域科学部	—	地域政策 学 学 学 部 (入試は学部 単位で実施)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5～6 教科
医学部	—	医学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	5教科
医学部	—	医学科	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	7～8 科目
医学部	—	医学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	5教科
医学部	—	医学科	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	7科目

学部	選抜対象者	選抜対象学科等	受験を要する教科・科目										合計																			
			国語		地理歴史			公民		数学		理科			外国語																	
			世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地理基礎	理科①	理科②	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語			
工学部	普通・理数に関する学科	社会基盤工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎				◎	○	○	○				◎						
		化学・生命工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎						○	◎	○				◎						
		機械工学科 電気電子・情報工学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎						○	◎	○				◎						
工学部	工業に関する学科	社会基盤工学科 機械工学科 電気電子・情報工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	△				◎	◎					◎						
		化学・生命工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎						○	◎	○				◎						
			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎						○	◎	○				◎						

推Ⅱ・共通テスト

学部	選抜対象者	選抜対象学科等	受験を要する教科・科目										合														
			国語			地理歴史		公民		数学		理科			外国語												
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理	現代社会	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ 数学I・数学A	数学Ⅱ 数学B	簿記・会計 情報関係基礎	理科① 物理基礎 化学基礎 生物基礎	理科② 物理 化学 生物 地学	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語	日本語					
応用生物科学部	専門学科(農業等に關する学科等)・総合学科を卒業見込みの者	応用生命科学課程 生産環境科学課程										◎	○△△	○△△		△	△	△	○	○	◎						
			1	1										1				2	2	1							
	理科①については、2科目で1とする。 (1)理科①から2科目及び理科②から1科目、(2)理科②から2科目のいずれかとする。 なお、(1)の場合は、同一名称を含む科目の選択は不可とする。											◎	◎	◎								◎					
共同獣医学科	上記以外の者	応用生命科学課程 生産環境科学課程																									
														1	1	1									1		
社会システム経営学環			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○△△	○△△								◎					
			1															1	1	1				1			
			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○△△	○△△								◎					
			1													1	1	1									
			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○△△	○△△								◎					
			1													1	1	1									
			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○△△	○△△								◎					
			1													1	1	1									

- (注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)
- 3 教育学部、地域科学部及び社会システム経営学部の志願者で、「地理歴史、公民」「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 教育学部、地域科学部及び社会システム経営学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点
- 5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者に限ります。(「情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)
- 6 「外国語」のうち、「英語」は「リーディング」と「リスニング」の双方を課します。大学入試センターが発表した大学入学共通テストの「外国語(英語)」の配点は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)ですが、本学は「外国語(英語)」の配点をリーディング150点満点、リスニング50点満点に換算します。リーディングとリスニングの換算後の合計得点を各学部・学科等が定める配点に応じてさらに換算します。リーディングを受験し、リスニングを受験しなかった場合は、リスニングの得点は0点となります。ただし、リスニングが免除となる受験上の配慮決定者については、リーディングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。
- 7 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
教育学部の志願者が、「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
- 8 工学部の志願者のうち工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者で、複数の教科・科目を受験している場合の得点は次のとおり採用します。
「国語」「地理歴史」及び「公民」(※印のついた教科)の場合
- ・「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
 - ・「国語」と「地理歴史、公民」の両方を受験している場合は、「国語」と上記の第1解答科目の得点を比較し、得点の高い方を採用します。
- 「理科②」の場合
- ・2科目を受験している場合には、第1解答科目の得点を採用しますので、学科が指定する科目を第1解答科目で受験してください。
- 9 応用生物科学部の志願者で、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の専門学科若しくは総合学科を卒業見込みの者に限ります。
- なお、専門学科とは、農業等に関する学科をいいます。普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならないので、これら以外の専門教育を主とする学科に在籍する志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせてください。
- また、総合学科とは、卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みのものをいいます。

5. 一般選抜の実技検査・小論文・面接

○ 教育学部（前期日程）実技検査

前1) 音楽実技 次の3種類の検査を行う。

種目	内 容	注 意 事 項	楽譜コピー (○:要, ×:不要)
1	ソルフェージュ ----- 新曲視唱（調号2つまで）		
2	声 楽 下記の歌曲の中から1曲を選び演奏する。 イタリア歌曲 T. Giordani : Caro mio ben (Es-dur, C-dur) F. P. Tosti : Ideale (A-dur) ドイツ歌曲 L. v. Beethoven: Ich liebe dich (G-dur, F-dur) F. Schubert : Lachen und Weinen (As-dur, F-dur) 日本歌曲 山田耕筰 : からたちの花 (G-dur, Es-dur) 弘田竜太郎 : 浜千鳥 (Es-dur)	① 伴奏者は本学で用意する。 ② 暗譜演奏すること。	×
3	器 楽 下記の(1), (2)のどちらかを選択する。		
	(1) ピアノ バロック時代以降 1945 年以前に作曲されたピアノ 独奏用の作品から任意の1曲を選択し暗譜で演奏す る。	① 反復は省略すること。 ② 暗譜演奏すること。 ③ 楽譜は特に指定しない。	○
	(2) 管楽器・弦楽器・打楽器及びピアノ A 任意の管楽器・弦楽器又は打楽器の独奏曲（練習 曲を含む）を演奏する。 B ピアノ 上記の(1)と同じ課題とする。	A ① 検査当日は無伴奏とする。 ② 楽譜は見てよい。 ③ 反復は省略すること。 ④ 楽曲の途中から演奏させることもある。 ⑤ 楽器は各自持参すること。 B 上記(1)ピアノの注意事項に同じ。	○ ○

共通注意事項

<提出物> 以下3点を他の出願書類と一緒に提出すること

(a) 選択楽曲調書（様式を本学ホームページに掲載）—— i) 楽曲名, ii) 調名, iii) 作曲者名（原語で作曲者名を併記）, iv) 楽譜の出版社名等を記入。

(b) 音楽歴調書（様式を本学ホームページに掲載）—— 参考資料とします。

(c) 「3 器楽」で演奏する曲の楽譜（(1)ピアノのみ, (2)管楽器・弦楽器・打楽器及びピアノ）のコピー — 受験者名, 作曲者名, 曲名を記入。

<その他> 楽典に関する口述試験を行う。

前2) 美術実技・講座面接

a 実技検査は次の内容を行う。（配点300点）

「手の鉛筆デッサン（八つ切り [270 × 380 mm] 画用紙使用。）」

① カルトン, 画用紙, 鉛筆 (B・2B・4B), 練り消しゴム, カッターナイフは大学で用意する。

② 鉛筆, 練りゴム等, 自分で持参した描画材も使用して構わない。

③ 実技検査は2時間。

④ 資料の持ち込みや, パソコン, スマートフォン, デジタルカメラ等の電子機器の使用は許可しない。

b 講座面接

① 実技検査後に簡単なグループ面接を行う。（配点100点）

前3) 体育実技 次の実技検査を行う。

運動の専門的能力検査（陸上競技，水泳，器械運動，ハンドボール，サッカー，ダンス及びその他（基礎的能力総合検査））のうちから1つ選択とする。

○ 教育学部（前期日程）面接（共通面接）

面接（共通面接）は，総合判定の資料（配点なし）とし，教育学部のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は，総合点にかかわらず不合格とします。

○ 地域科学部（前期日程，後期日程）小論文

テーマの的確な把握，論理的な思考力等をみるために行う。特定の教科の学力を問うものではない。

○ 医学部医学科（前期日程）面接

面接は，総合判定の資料（配点なし）とし，医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は，総合点にかかわらず不合格とします。

○ 医学部看護学科（後期日程）小論文・面接

小論文：与えられた課題に対する理解力，論理的思考力及び文章表現力等を総合的にみるために行う。特定の教科の学力を検査するものではない。

面接：看護への適性をみるために行う。

○ 社会システム経営学環（前期日程）小論文

テーマの的確な把握，論理的な思考力等をみるために行う。特定の教科の学力を問うものではない。

6. 特別選抜の入試方法等

(1) 学校推薦型選抜

実施学部	教 育 学 部	
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ（ぎふ清流入試） （大学入学共通テストを課す選抜）	
実施課程、講座（専攻）及び募集人員	学校教育教員養成課程 国語教育 4人 社会科教育 10人 数学教育 4人 理科教育（物理学）2人 理科教育（化学） 2人 理科教育（生物学）2人 理科教育（地学） 3人 音楽教育 2人 美術教育 4人 保健体育 2人 技術教育 2人 家政教育 4人 英語教育 4人 学校教育（心理学コース） 3人 学校教育（教職基礎コース）5人 特別支援教育 2人	
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、以下の出願要件のすべてを満たす者で、「令和5年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部が指定する教科・科目を受験するもの a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を令和5年3月卒業見込みの者、あるいは、令和4年3月卒業の者（令和4年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者	
	岐阜大学教育学部への確たる志望理由があること	
	岐阜県内の教員として活躍したいという確たる志望理由があること	
	人物及び学力が優秀であり、志望する講座等に対する能力、素質、適性等について、在籍（卒業）学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること	
	在籍（卒業）学校（教育施設）長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上の者	
入 試 方 法 等	数学教育講座に出願する者は、高等学校等において、数Ⅰ、数A、数Ⅱ、数B、数Ⅲをすべて履修した者、または、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論をすべて履修した者	
	推薦書、岐阜県教員を目指す学修計画書、調査書、大学入学共通テストの成績、音楽歴調書（音楽教育講座）、作品（美術教育講座）、運動歴調書（保健体育講座）及び面接により総合的に判定する。 音楽教育講座は、小学校歌唱共通教材のうち、「春がきた」、「茶つみ」、「ふじ山」、「おぼろ月夜」、「われは海の子」を課題とする。その中から当日1曲指定し、1番のみ弾き歌いを行う。伴奏楽譜は自由とする。 【面接について】 ・個人面接と集団面接を課す。 ・集団面接は講座等を問わず受験者複数人を1グループとして実施する。 ・個人面接は志望講座等別に実施する。個人面接は一部の講座等において口述試験を含み、英語教育講座は英語面接を含み、音楽教育講座は実技試験を含む（音楽歴調書は個人面接の参考資料とする）。口述試験等を含む講座等は次表のとおり。	
	個人面接	講座・課程
	・口述試験を含む	国語教育講座、社会科教育講座、数学教育講座、理科教育講座、美術教育講座、保健体育講座、技術教育講座、家政教育講座、学校教育講座、特別支援教育講座
	・英語面接を含む	英語教育講座
	・実技試験を含む	音楽教育講座
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	①国 地歴 公民 数 理 外	次の①又は②のどちらか 国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から2 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）から1 英 (6教科7科目又は6教科8科目)
	②国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）から2 英 (5教科7科目又は5教科8科目)

教育・推Ⅱ（ぎふ清流入試）

入試方法等	<p>注1 「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。（第2解答科目の得点は一切採用しないため、指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。）</p> <p>2 「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。</p> <p>3 「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。 (1) 「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2) 「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3) 「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点</p> <p>4 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。</p> <p>5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。（「情報関係基礎」については、P. 35を参照）</p> <p>6 「理科①」については、2科目で1とします。 理科から1の場合は、(1) 「理科①」から2科目、(2) 「理科②」から1科目のいずれかとし、理科から2の場合は、(3) 「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目、(4) 「理科②」から2科目のいずれかとし、(3)の場合は、同一名称を含む科目は選択できません。</p>
出願期間	令和4年12月20日（火）～23日（金）
入試期日	令和5年2月5日（日）
合格者発表日	令和5年2月10日（金）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	個別学力検査は課さない。
	<p>1 1校からの推薦者数は、教育学部全体で5名以内（音楽教育、美術教育、保健体育を除く。）とする</p> <p>2 次の講座等は1校から2名以内とする（国語教育、社会科教育、理科教育（1専攻に2名も可）、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、学校教育（1コース1名以内）・特別支援教育）</p> <p>3 次の講座は1校から1名以内とする（数学教育、英語教育）</p> <p>4 音楽教育講座の志望者は、音楽履歴書を提出すること</p> <p>5 美術教育講座の志望者は、作品証明書を提出すること。また、記入した作品5点以内を試験当日までに持参すること</p> <p>6 保健体育講座の志望者は、運動履歴書を提出すること</p>

地域・推Ⅰ

実施学部	地域科学部
入試種別	学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない選抜)
実施学科及び募集人員	<p>地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 6人</p> <p>入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。</p>
出願要件	<p>令和5年3月高等学校（中等教育学校高等部を含む。）の専門学科又は総合学科、及び特別支援学校高等部を卒業見込みの者</p> <p>※ 専門学科については、職業教育を主とする学科に在籍する者とする。普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。特別支援学校高等部については学科を限定しない。</p> <p>人物及び修学姿勢において秀で、本学部に対する意欲、適性等について在籍学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。</p> <p>学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者</p>
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、小論文及び面接により総合的に判定する。
出願期間	令和4年11月1日（火）～4日（金）
入試期日	令和4年11月12日（土）
合格者発表日	令和4年12月1日（木）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	個別学力検査は課さない。同一の専門学科等からの推薦者数は、2人以内

地域・推Ⅱ

実施学部	地域科学部	
入試種別	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)	
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 10人 〔入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。〕	
出願要件	次のいずれかに該当し，出願要件のすべてを満たす者で，「令和5年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち，本学部が指定する教科・科目を受験するもの a) 令和5年3月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者	
	人物及び修学姿勢において秀で，本学部に対する意欲，適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者。	
入試方法等	推薦書，志望理由書，調査書，大学入学共通テストの成績及び面接により総合的に判定する。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	①国 地歴 公民 数 理 外	次の①又は②のどちらか 国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B } から2 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 理①（物基，化基，生基，地学基），理②（物，化，生，地学）から1 英，独，仏，中，韓から1 （5教科7科目，5教科8科目，6教科7科目又は6教科8科目）
②国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B } から1 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 理①（物基，化基，生基，地学基），理②（物，化，生，地学）から2 英，独，仏，中，韓から1 （5教科7科目又は5教科8科目）	
注1 「地理歴史，公民」，「理科②」において，指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては，第1解答科目の得点を採用します。 2 「地理歴史，公民」，「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は，「地理歴史，公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と，第2解答科目のいずれか高得点を採用します。 3 「地理歴史，公民」から2科目，「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は，以下の(1)～(3)の得点を採用します。 (1)「地理歴史，公民」の第1解答科目の得点，(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点，(3)「地理歴史，公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点 4 「地理歴史，公民」から2科目を受験する場合は，同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。 5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。（「情報関係基礎」については，P. 35を参照） 6 「理科①」については，2科目で1とします。 理科から1の場合は，(1)「理科①」から2科目，(2)「理科②」から1科目のいずれかかします。理科から2の場合は，(3)「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目，(4)「理科②」から2科目のいずれかかします。なお，(3)の場合は，同一名称を含む科目は選択できません。		
出願期間	令和4年12月20日（火）～23日（金）	
入試期日	令和5年1月21日（土）	
合格者発表日	令和5年2月10日（金）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
その他	個別学力検査は課さない。1校からの推薦者数は，3人以内	

実施学部	医 学 部	
入試種別	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)	
実施学科及び募集人員	一般推薦 医 学 科 27人	地域枠推薦 医 学 科 28人 (岐阜県コース, 地域医療コース) (募集人員は設置認可申請予定の人数であり, 変更があり得ます。)
選抜の対象	次のいずれかに該当し, 出願要件のすべてを満たす者 a) 令和5年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者, あるいは令和4年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため, 令和4年4月1日以降, 学年の途中において, あるいは学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。) b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了見込みの者, あるいは令和3年4月から令和5年3月までに修了の者	高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を令和5年3月卒業見込みの者, あるいは令和4年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため, 令和4年4月1日以降, 学年の途中において, あるいは学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)で, 次の①, ②のいずれかに該当し, 出願要件のすべてを満たす者 ① 岐阜県内の高等学校であること。 ② 他県の高等学校の場合は, 在学期間中の3年間岐阜県内に居住し, 居住地から通学していること。
出願要件	人物及び学力が優秀であり, 志望学科に対する能力, 素質, 適性等について在籍(卒業)学校(教育施設)長が責任をもって推薦し, 合格した場合には入学することを確約できる者で, 次の要件を満たしていること。	人物及び学力が優秀であり, 岐阜県の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち, 能力, 素質, 適性等について在籍(卒業)学校長が責任をもって推薦し, 合格した場合には入学することを確約できる者で, 次の要件をすべて満たしていること。
	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者で以下のことを確約する者 ・入学後, 岐阜県医学生第1種修学資金を受給すること。 ・卒業後, 2年間の初期臨床研修を岐阜県内(地域医療コースは出身圏域)で行い, その後岐阜県内の医療機関等において一定の期間, 各コースにて指定されたプログラムで業務に従事(※1)すること。 地域医療コースは上記要件に加え, 対象市町村の出身者で, かつ当該市町村長の推薦を受けた者(※2)。
	「令和5年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち, 本学部・学科が指定する教科・科目を受験した者	
入試方法等	大学入学共通テストに基準点を設け, 基準点以上を得た受験者の中から, 推薦書, 志望理由書, 調査書, 大学入学共通テストの成績, 小論文及び面接により総合的に判定する。 ※ それぞれの詳細な選抜方法等は, 学校推薦型選抜Ⅱ募集要項(11月下旬公表予定)を参照してください。 大学入学共通テストの基準点は, 一般推薦は配点の78%, 地域枠推薦(岐阜県コース)は配点の74%, 地域枠推薦(地域医療コース)は配点の70%です。ただし, 大学入学共通テストの基準点を満たさない者であっても, 大学入試センターが発表する大学入学共通テストにおける中間報告時の科目平均点の規定倍(一般推薦は1.4倍, 地域枠推薦(岐阜県コース)は1.3倍, 地域枠推薦(地域医療コース)は1.25倍)以上であれば合格の対象とします。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 英 (5教科7科目)	注) 「地理歴史, 公民」において, 2科目を受験した場合は, 第1解答科目の得点を採用します。(第2解答科目の得点は一切採用しないため, 指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。)
出願期間	令和5年1月17日(火)～1月20日(金)	
入試期日	令和5年1月25日(水)・〔26日(木) 志願者多数の場合の予備日〕	
合格者発表日	令和5年2月10日(金) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	

そ の 他	個別学力検査は課さない。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査は課さない。 ・1 高等学校からの推薦者数は、7 人まで。 (※1) ・岐阜県医学生修学資金(第1種)を受給し、卒業後一定の期間、指定されたプログラムにより勤務することが要件。その場合、修学資金の返還が免除される。 ・岐阜県医学生修学資金および返還免除条件については、岐阜県の医学生修学資金 Web ページを参照してください。 (※2) ・地域医療コースの対象となる市町村など、詳細については岐阜県の医学生修学資金 Web ページを参照してください。
-------	--------------	--

看護・推 I

実施学部	医 学 部	
入試種別	学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)	
実施学科及び募集人員	看護学科	15 人
出願要件	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者	
	a) 令和5年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者	
	b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者	
	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。	
	学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者	
入試方法等	推薦書、志望理由書、※調査書、小論文(英語での出題含む。)及び面接により総合的に判定する。	
出願期間	令和4年11月1日(火)～4日(金)	
入試期日	令和4年11月12日(土)	
合格者発表日	令和4年12月1日(木) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。 ・1 校からの推薦者数は、3 人以内 	

※高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず結果を記載できないことや、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

工 学 部						
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)						
普通・理数に関する学科				工業に関する学科		
実施学部	社会基盤工学科	環境コース	10人	社会基盤工学科	環境コース	2人
		防災コース			防災コース	
	機械工学科	機械コース	8人	機械工学科	機械コース	2人
		知能機械コース	5人		知能機械コース	2人
	化学・生命工学科	物質化学コース	12人	化学・生命工学科	物質化学コース	2人
生命化学コース		6人	生命化学コース		2人	
電気電子・情報工学科	電気電子コース	6人	電気電子・情報工学科	電気電子コース	2人	
	情報コース	8人		情報コース	2人	
		応用物理コース	4人		応用物理コース	1人
入試種別	普通・理数に関する学科			工業に関する学科		
学科及び募集人員	社会基盤工学科 環境コース 10人 社会基盤工学科 防災コース 機械工学科 機械コース 8人 機械工学科 知能機械コース 5人 化学・生命工学科 物質化学コース 12人 化学・生命工学科 生命化学コース 6人 電気電子・情報工学科 電気電子コース 6人 電気電子・情報工学科 情報コース 8人 電気電子・情報工学科 応用物理コース 4人			社会基盤工学科 環境コース 2人 社会基盤工学科 防災コース 機械工学科 機械コース 2人 機械工学科 知能機械コース 2人 化学・生命工学科 物質化学コース 2人 化学・生命工学科 生命化学コース 2人 電気電子・情報工学科 電気電子コース 2人 電気電子・情報工学科 情報コース 2人 電気電子・情報工学科 応用物理コース 1人		
選抜の対象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の普通科又は理数に関する学科を、令和5年3月に卒業見込みの者、あるいは、令和4年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため、令和4年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。) b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和3年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者			次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の工業に関する学科を、令和5年3月に卒業見込みの者、あるいは、令和4年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため、令和4年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。) b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和3年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者		
出願要件	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たし、「令和5年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部が指定する教科・科目を受験するもの 学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上の者で、数学または外国語のうち1教科の学習成績の状況、あるいは、理科(基礎系科目も含む)の1科目の評定平均値が4.0以上のもの					
総合学科在籍者の取扱い	工業に関する科目 25単位未満			工業に関する科目 25単位以上		
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績及び面接(口述試験等を含む)により総合的に判定する。					
	大学入学共通テストの利用教科・科目名					
	学科	教科	科目名等	学科	教科	科目名等
	社会基盤工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物 化、生、地学から1 英 (5教科7科目)	社会基盤工学科 機械工学科 電気電子・情報工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、情報から1 物 化 英 (4教科5科目)
	機械工学科 電気電子・情報工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物 化 英 (5教科7科目)	化学・生命工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、情報から1 物 化 英 (4教科5科目)
化学・生命工学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物 化 英 (5教科7科目)	注) 1 「国語」、「地理歴史」及び「公民」において複数の教科・科目を受験している場合は、最高得点の科目を採用します。 なお、「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。 また、「理科②」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。(第2解答科目の得点は一切採用しないため、指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。) 2 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこの科目を履修した者に限ります。(「情報関係基礎」については、P. 35を参照)			
注) 「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。						
出願期間	令和5年1月17日(火)～20日(金)					
入試期日	令和5年2月4日(土)					
合格者発表日	令和5年2月10日(金) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。					
その他	個別学力検査は課さない。					
	1校からの推薦者数は、社会基盤工学科は学科で6人以内、その他の学科は各コース3人以内			1校からの推薦者数の制限は設けない		

応生・推 I

実施学部	応用生物科学部
入試種別	学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)
実施課程及び募集人員	応用生命科学課程 3人 生産環境科学課程 5人
選抜の対象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 令和5年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の専門学科※ ⁽¹⁾ 又は総合学科※ ⁽²⁾ を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程で専門学科※ ⁽¹⁾ 又は総合学科※ ⁽²⁾ に相当する教育を受け、令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件	人物及び学力が優秀であり、志望課程に対する能力、素質、適正等について在籍高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)長又は文部科学大臣認定等在外教育施設の長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。 学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、小論文及び面接により総合的に判定する。 小論文及び面接は、主に理科に関する基礎的な学力を判定する内容を含む。
出願期間	令和4年11月1日(火)～4日(金)
入試期日	令和4年11月14日(月)
合格者発表日	令和4年12月1日(木) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	・大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。 ・1校から推薦できる人数に制限は設けません。

[選抜の対象について]

- ※(1)専門学科：ア 専門教育を主とする学科のうち農業等に関する学科に在籍する者とする。
イ ア以外の学科に在籍の志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。
ウ 普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。

※(2)総合学科：卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みの者とする。

(1),(2)について、文部科学大臣認定等在外教育施設の高等部にあつては、専門学科又は総合学科に相当する教育を行う課程に在籍する者とし、志願者は出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。

実施学部	応用生物科学部			
入試種別	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)			
実施課程及び募集人員	応用生命科学課程 生産環境科学課程	10人 15人	共同獣医学科	4人
出願要件	<p>人物及び学力が優秀であり、志望課程・学科に対する能力、素質、適正等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当し、「令和5年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部・学科が指定する教科・科目を受験するもの</p> <p>a) 令和5年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者</p> <p>b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者</p>			
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績、小論文及び面接により総合的に判定する。			
	大学入学共通テストの利用教科・科目名			
	教科	科目名等	教科	科目名等
	<p>専門学科(農業等に関する学科等)・総合学科を卒業見込みの者</p> <p>数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1</p> <p>理 物基、化基、生基、地学基、物、化、生、地学から2</p> <p>外 英 (3教科5科目又は6科目)</p> <p>上記以外の者</p> <p>数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 物、化、生、地学から2</p> <p>外 英 (3教科5科目)</p> <p>注) 1 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者に限ります。(「情報関係基礎」についてはP.35を参照)</p> <p>2 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」を選択できる者は、高等学校等の専門学科^{※(1)}又は総合学科^{※(2)}を卒業見込みの者に限ります。基礎を付した科目については、2科目で1とします。 (1) 基礎を付した科目から2科目及び基礎を付していない科目から1科目、(2) 基礎を付していない科目から2科目のいずれかとします。 なお、(1)の場合は、同一名称を含む科目は<u>選択できません。</u></p>	<p>国 国 地歴 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1</p> <p>公民 現社、倫、政経、倫・政経 } 数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B } 理 物、化、生、地学から2 外 英 (5教科7科目)</p> <p>注) 「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p>		
出願期間	令和4年12月20日(火)～23日(金)			
入試期日	令和5年1月26日(木)・1月27日(金)			
合格者発表日	令和5年2月10日(金) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査は課さない。 ・1校から推薦できる人数に制限は設けません。 			

※(1) 専門学科：ア 専門教育を主とする学科のうち農業等に関する学科に在籍する者とする。
イ ア以外の学科に在籍の志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。
ウ 普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。

※(2) 総合学科：卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みの者とする。
(1)、(2)について、文部科学大臣認定等在外教育施設の高等部にあつては、専門学科又は総合学科に相当する教育を行う課程に在籍する者とし、志願者は出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。

経営・推Ⅱ

実施学部	社会システム経営学環	
入試種別	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)	
募集人員	15人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者で、「令和5年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学環が指定する教科・科目を受験するもの</p> <p>a) 令和5年3月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者</p> <p>b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>人物及び修学姿勢において秀で、本学環に対する意欲、適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者。</p>	
入試方法等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績、小論文及び面接により総合的に判定する。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	<p>①国 地歴 公民 数 理 外</p> <p>②国 地歴 公民 数 理 外</p>	<p>次の①又は②のどちらか</p> <p>国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）から1 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目)</p> <p>国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 理①（物基、化基、生基、地学基）、理②（物、化、生、地学）から2 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)</p> <p>注)1 「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。 2 「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。 3 「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。 (1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点 4 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。 5 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。（「情報関係基礎」については、P. 35を参照） 6 「理科①」については、2科目で1とします。 理科から1の場合は、(1)「理科①」から2科目、(2)「理科②」から1科目のいずれかとなります。理科から2の場合は、(3)「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目、(4)「理科②」から2科目のいずれかとなります。なお、(3)の場合は、同一名称を含む科目は選択できません。</p>
出願期間	令和4年12月20日（火）～23日（金）	
入試期日	令和5年2月4日（土）・5日（日）	
合格者発表日	令和5年2月10日（金）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
その他	個別学力検査は課さない。1校からの推薦者数は、3人以内	

(2) 社会人選抜

実施学部	地 域 科 学 部
入試種別	社 会 人 選 抜
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 2人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。 〕
出願要件	<p>令和5年4月1日現在満年齢25歳に達し，5年以上の社会人経験(注1)を有し，次のいずれかの要件を満たしている者</p> <p>(注1)全日制の学校に在籍していた期間は含みませんが，就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間および家事・家業に従事していた期間は含みます。</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(注2)</p> <p>上記の③に該当する者は，次のとおりです。</p> <p>ア 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号)</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者[昭和23年文部省告示第47号(大学入学に関し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定)]</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(令和5年3月までに合格見込みの者を含む。)</p> <p>カ 大学入学資格検定に合格した者</p> <p>キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>ク 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p>
入試方法等	小論文，面接及び出願書類により総合的に判定する。
出願期間	令和4年10月4日(火)～7日(金)
入試期日	令和4年11月12日(土)
合格者発表日	令和4年12月1日(水) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。

看護・社会人

実施学部	医 学 部
入試種別	社 会 人 選 抜
実施学科及び募集人員	看 護 学 科 3 人
出 願 要 件	<p>令和5年4月1日現在満年齢23歳に達し、3年以上の社会人経験(注1)を有し、次のいずれかの要件を満たしている者</p> <p>(注1)全日制の学校に在籍していた期間は含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間および家事・家業に従事していた期間は含みます。</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(注2)</p> <p>上記の③に該当する者は、次のとおりです。</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号)</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者[昭和23年文部省告示第47号(大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定)]</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(令和5年3月までに合格見込みの者を含む。)</p> <p>カ 大学入学資格検定に合格した者</p> <p>キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p>
入試方法等	志望理由書、履歴書、小論文(英語での出題を含む。)及び面接により総合的に判定する。
出 願 期 間	令和4年11月 1日(火)～ 4日(金)
入 試 期 日	令和4年11月12日(土)
合格者発表日	令和4年12月1日(木) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。

(3) 帰国生選抜

実施学部	地 域 科 学 部
入試種別	帰 国 生 選 抜
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 1人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。 〕
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で，保護者の外国勤務等の事情により外国の学校教育を受け，次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国の正規の学校教育における12年の課程（日本における通常の課程における学校教育の期間を含む。）を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>ただし，12年の課程のうち，外国において最終学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から，国際バカロレア資格証書を令和3年から令和4年までに授与された者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和3年から令和4年までに取得した者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和3年から令和4年までに取得した者</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔3科目以上合格，評価E以上〕を令和3年から令和4年までに取得した者</p> <p>⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC，ACSI，CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和3年から令和4年までに修了した者</p>
入試方法等	小論文，面接及び出願書類により総合的に判定する。
出願期間	令和4年10月4日（火）～7日（金）
入試期日	令和4年11月12日（土）
合格者発表日	令和4年12月1日（木）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。

(4) 私費外国人留学生選抜

実施学部等	教育学部	地域科学部	医学部医学科	工学部	応用生物科学部 応用生命科学課程 生産環境科学課程																								
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名																								
出願資格	<p>1 日本国籍を有しない者</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得できる見込みの者</p> <p>3 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>※「12年の課程」に日本の学校での期間が含まれる場合</p> <p>日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校に在籍していた期間が通算して3年以内であり、かつ日本の高等学校に対応する外国の学校（日本にある外国人学校を含む。）を卒業した者</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔3科目以上合格、評価E以上〕を有する者</p> <p>⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p> <p>4 工学部については、次の要件を満たしている者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>日本留学試験</th> <th>TOEFL iBT</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全4学科</td> <td>理科2科目及び数学の合計点が240点以上</td> <td>45点以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 応用生物科学部については、次の要件を満たしている者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">課程等</th> <th colspan="3">日本留学試験</th> <th rowspan="2">TOEFL iBT</th> </tr> <tr> <th>合計点 (※1)</th> <th>「日本語」 (※1)</th> <th>「日本語」の 「記述」領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応用生命科学課程</td> <td>640点以上</td> <td>320点以上</td> <td>40点以上</td> <td>71点以上</td> </tr> <tr> <td>生産環境科学課程</td> <td>640点以上</td> <td>320点以上</td> <td>40点以上</td> <td>71点以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(備考) 1 ※1について、日本留学試験の「日本語」の「記述」領域の得点を除く。 2 岐阜大学は、TOEFL iBTテストのTest Dateスコアのみを出願スコアとして活用しません。（My Bestスコアは活用しません。）</p>					学科	日本留学試験	TOEFL iBT	全4学科	理科2科目及び数学の合計点が240点以上	45点以上	課程等	日本留学試験			TOEFL iBT	合計点 (※1)	「日本語」 (※1)	「日本語」の 「記述」領域	応用生命科学課程	640点以上	320点以上	40点以上	71点以上	生産環境科学課程	640点以上	320点以上	40点以上	71点以上
学科	日本留学試験	TOEFL iBT																											
全4学科	理科2科目及び数学の合計点が240点以上	45点以上																											
課程等	日本留学試験			TOEFL iBT																									
	合計点 (※1)	「日本語」 (※1)	「日本語」の 「記述」領域																										
応用生命科学課程	640点以上	320点以上	40点以上	71点以上																									
生産環境科学課程	640点以上	320点以上	40点以上	71点以上																									
入試方法等	次ページのとおり																												
実施学部等	教育学部	地域科学部	医学部医学科	工学部	応用生物科学部																								
出願期間	令和4年 12月21日(水) ～ 12月23日(金)	令和4年 12月21日(水) ～ 12月23日(金)	令和5年 1月4日(水) ～ 1月6日(金)	令和5年 1月4日(水) ～ 1月6日(金)	令和5年 1月4日(水) ～ 1月6日(金)																								
入試期日	令和5年 1月20日(金)	令和5年 1月21日(土)	令和5年 1月25日(水)	個別学力検査は 課さない (渡日前入学許可)	個別学力検査は 課さない (渡日前入学許可)																								
合格者発表日	令和5年2月10日(金) ※合格者発表は大学のホームページにて行います。合格者の受験番号の掲示発表は行いません。																												

入試方法等について

学部	課程・学科・講座(専攻)	日本留学試験					個別学力検査等				TOEFL	渡日前入学許可の有無											
		文系	理系	数学のコース	理科の科目選択	基礎学力出題言語	成績利用	小論文	学科試験	面接			実技検査										
教育学部	学校教育 教員養成課程	国語教育	○	1又は2	/	日本語又は英語(自由選択)	2022年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	○	×	○(日本語)	×	○	無										
		社会科教育																					
		学校教育(教職基礎コース)																					
		学校教育(心理学コース)																					
		特別支援教育																					
		数学教育												○	2	2科目自由選択	×	○数学	×				
		理科教育(物理学)																					
		理科教育(化学)																					
		理科教育(生物学)																					
		理科教育(地学)																					
音楽教育	○	1又は2	/	日本語又は英語(自由選択)	2022年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	×	×	○(日本語)	○	○	無												
美術教育																							
保健体育																							
技術教育												2	2科目自由選択	○	×								
家政教育												○	1又は2	1又は2	×	×	×	○※					
英語教育																							
地域政策学科												文系又は理系	1又は2	理科の場合2科目自由選択	日本語又は英語(自由選択)	2022年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	○	×	○(日本語)	/	×	無	
地域文化学科 (入試は学部単位で実施)																							
医学部												医学科	○	2	2科目自由選択	日本語	2022年度又は2021年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	○	×	○(日本語)	/	○	無
工学部												社会基盤工学科	○	2	2科目自由選択	日本語	2022年度又は2021年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	×	×	○(日本語)	/	○	有
	環境コース																						
	防災コース																						
	機械工学科	×																					
	知能機械コース																						
化学・生命工学科	×																						
物質化学コース																							
生命化学コース																							
電気電子・情報工学科	×																						
電気電子コース																							
情報コース																							
応用物理コース																							
応用生物科学部	応用生命科学課程	○	2	化学指定物理又は生物から1科目選択	日本語	2022年度又は2021年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	×	×	○(日本語)	/	△	有											
	生産環境科学課程			2科目自由選択																			

(備考)

1 全学部該当する事項

- 1) ○印は入試の対象とすること、×印は入試の対象としないこと、△印は出願要件の対象とすることを示します。
- 2) 上記の各試験の成績により総合的に判定します。
- 3) 「日本留学試験」の取扱いについて
 - a 利用科目について

表中「文系」は、「日本語」、「総合科目」、「数学」を受験することを示します。

表中「理系」は、「日本語」、「理科」、「数学」を受験することを示します。
 - b 「数学のコース」欄について

「コース1」は、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用です。「1」は、これを受験することを示します。

「コース2」は、数学を高度に必要とする学部用です。「2」は、これを受験することを示します。

2 教育学部に該当する事項

- 小論文及び実技検査の内容は、講座(専攻)により異なります。
- ※印：英語教育講座の実技検査は、英語により英語4技能による検査を行います。

3 地域科学部及び応用生物科学部に該当する事項

- 日本留学試験の日本語の得点は、「読解」及び「聴解・聴読解」の2領域を使用します。

4 教育学部、医学部医学科及び工学部に該当する事項

- 日本留学試験の日本語の得点は、「記述」、「読解」及び「聴解・聴読解」の3領域を使用します。

Ⅶ 学生募集要項・大学（学部等）案内の入手方法等

1. 学生募集要項の配布等時期

名 称	配布等時期(予定)	略 称	備 考
一般選抜学生募集要項	11月下旬	一般募集要項	冊子での配布は行いません。時期になりましたらHP上に電子ファイルを掲載しますので、各自でダウンロードしてください。(表紙裏参照)
学校推薦型選抜Ⅱ(共通テストを課す)学生募集要項		推薦Ⅱ募集要項	
学校推薦型選抜Ⅰ(共通テストを課さない)学生募集要項	7月下旬	推薦Ⅰ募集要項	合冊(地域科学部, 医学部看護学科, 応用生物科学部)
社会人選抜学生募集要項		社会人募集要項	
帰国生選抜学生募集要項		帰国生募集要項	
私費外国人留学生選抜学生募集要項	11月下旬	私費外国人募集要項	全学部共通

2. 郵便による募集要項の請求方法

略 称	返信用封筒と郵送料	請 求 方 法
推薦Ⅰ募集要項 社会人募集要項 帰国生募集要項 私費外国人募集要項	角形2号 (縦33.2cm× 横24.0cm) 215円 (ゆうメール)	返信用封筒に郵送料分の切手を貼り、住所・氏名及び連絡先の電話番号(本学から問い合わせが必要な場合のみ使用します。)を記入し、これを折りたたんで定形内の封筒に入れ、請求先へ請求してください。その際に、あて先の左側に「××募集要項請求」と朱書きしてください。

3. 郵便による大学（学部等）案内の請求方法

名 称	請 求 先	返信用封筒と郵送料	請 求 方 法	
岐阜大学案内	学務部入試課	角形2号 (縦33.2cm ×横24.0cm)	次ページの発送代行サイトによる請求方法をご利用いただくか、郵便による募集要項の請求方法と同じ要領で返信用封筒を作成して請求してください。	
教育学部案内	教育学部学務係			310円 (ゆうメール)
地域科学部案内	地域科学部学務係			140円
医学部・医学科案内	医学部医学科学務係			140円
医学部・看護学科案内	医学部看護学科学務係			140円
応用生物科学部案内	応用生物科学部学務係			180円 (ゆうメール)
社会システム経営学環案内	全学連携教育課学環事務室			140円

※工学部案内は発行しておりません。学科別のパンフレットを発行していますので、希望される方は岐阜大学のホームページで請求方法の詳細をご確認ください。

4. 請求先・問い合わせ先

志望学部等	担 当 係	電話番号(直通)	所 在 地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2359, 2206	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3025, 3009	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3409, 2838	
社会システム経営学環	全学連携教育課学環事務室	058-293-3440, 3446	
医学部	医学科	医学部医学科学務係	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
	看護学科	医学部看護学科学務係	

○郵送のほかに、窓口でも交付しています。パソコンやスマートフォンから発送代行サイトへアクセスし請求する方法が便利です。

5. ホームページでの入試情報サービス

<https://www.gifu-u.ac.jp/>

詳しい資料の入手方法やその他の入試情報を掲載しています。

岐阜大学のホームページ「入試案内」又は「入試最新情報」等をご覧ください。

また、募集要項(本文)等を電子ファイルにて閲覧することができます。※PDFを用いたファイルの閲覧には、アクロバット・リーダーが必要です。

ホームページ上の入試情報

掲載開始時期	内 容
7月	選抜要項等を取り寄せる方法
11月	各募集要項の入手方法
12月	インターネット出願サイトの案内
2月	出願受付状況・合格者発表(推薦Ⅱ・私費外国人留学生選抜)
3月	合格者発表(一般選抜)・追加合格の実施の有無

※合格者の受験番号の掲示発表は行いません。

6. 発送代行サイトを利用した岐阜大学案内・各学部案内の請求方法

a 大学のホームページからアクセスする場合

大学のホームページから「テレメール」又は「モバっちょ」へアクセスして資料請求ができます。

料金は資料到着後の後払いです。

詳しくは、岐阜大学のホームページをご覧ください。（入試案内>大学（学部）入試情報>資料請求）

パソコンのほかにスマートフォン、携帯電話からもアクセスできます。

b テレメールを利用した請求方法

「岐阜大学案内」「各学部案内」（工学部は学科別のパンフレットのみ）が請求できます。

〔受付期間〕（発送開始前の申込は、予約受付となります。）



- ・「岐阜大学案内」「各学部案内」→ 令和4年4月上旬から

〔発送開始時期〕

- ・「岐阜大学案内」「各学部案内」→ 令和4年7月下旬から

〔請求手順〕

- ① 下記の方法でテレメールにアクセスしてください。

 テレメール	インターネットの場合	
	https://telemail.jp	

右の QR コードからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。

- ② 次に請求を希望する岐阜大学の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	発送開始（予定）時期
大学案内	5 6 3 6 5 2	7月下旬
教育学部案内	5 6 3 6 7 2	7月下旬
地域科学部案内	5 6 3 6 8 2	7月下旬
医学部医学科案内	5 6 3 6 9 2	7月下旬
医学部看護学科案内	5 4 3 6 6 2	6月下旬
工学部 社会基盤工学科パンフレット	9 5 4 9 5 1	6月下旬
工学部 機械工学科パンフレット	9 5 3 2 8 2	6月下旬
工学部 化学・生命工学科パンフレット	9 5 3 2 9 2	6月下旬
工学部 電気電子・情報工学科パンフレット	9 5 3 3 0 2	6月下旬
応用生物科学部案内	5 6 9 8 7 2	4月下旬
社会システム経営学環案内	7 9 4 4 0 2	7月下旬

- ③ あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※資料は発送日からおおむね3～5日で届きます。土日祝日は配達がありません。土日祝日をはさむ場合やお届け先の地域や郵便事情によっては、お届けに1週間ほど要する場合があります。随時発送の資料が1週間以上

(予約受付の資料は発送開始日から2週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※料金のお支払いは、資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です。(コンビニ支払い、LINE Pay 請求書支払い、PayPay 請求書払い、au PAY 請求書払いは118円、ケータイ払い及びクレジットカード払いは50円。) ゆうちょ銀行・郵便局の通常払込みもご利用になれます。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

株式会社フロムページ「テレメールカスタマーセンター」


I P 電話 (050) 8601-0102

(受付時間9:30~18:00)

c モバっちょを利用した請求方法

「岐阜大学案内」のみが請求できます。

下記のいずれかの方法でアクセスし、請求してください。

パソコンから請求する	携帯電話, スマートフォンから請求する
https://djc-mb.jp/gifu-u/	右のQRコードから アクセスする。
	

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についての問い合わせ先

大学情報センター株式会社 「モバっちょカスタマーセンター」

TEL : 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

岐阜大学 令和5年度入試の変更点（特記事項）

○教育学部

【前期日程】

- ・ 選抜方法の変更

個別学力検査で課す教科・科目及び配点の変更…………… P. 1, P. 13, P. 18, P. 36, P. 37

○医学部医学科

【後期日程】

- ・ 学生募集を廃止…………… P. 3, P. 7, P. 13, P. 21, P. 26, P. 30, P. 37

【前期日程，後期日程，学校推薦型選抜Ⅱ】

- ・ 募集人員等について変更…………… P. 7, P. 21, P. 26
- ・ 2段階選抜の実施倍率の変更…………… P. 26
- ・ 大学入学共通テストにおける基準点の変更…………… P. 41

○応用生物科学部

【前期日程】

- ・ 選抜方法の変更

個別学力検査で課す教科・科目の変更…………… P. 24

大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除について

岐阜大学では、大規模自然災害により被災した入学志願者に対して検定料免除の特別措置を行います。詳細は岐阜大学のホームページを参照してください。

<問い合わせ先一覧>

志望学部等	担当係	電話番号（直通）	所在地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2359, 2206	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3025, 3009	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3409, 2838	
社会システム経営学環	全学連携教育課学環事務室	058-293-3440, 3446	
医学部医学科	医学部医学科学務係	058-230-6075, 6077	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
医学部看護学科	医学部看護学科学務係	058-293-3217, 3218	

月曜日～金曜日（年末年始・祝日等を除く。）9：00から17：00まで

岐阜大学ホームページ <https://www.gifu-u.ac.jp/>

令和4年7月発行 編集：岐阜大学学務部入試課